



## 哲学・思想 No.1

## 功利主義と義務論

## —— 医療倫理の哲学的基盤を理解する

 **今日のゴール**：功利主義（ベンサム・ミル）と義務論（カント）という2大倫理理論の違いを理解し、医療の具体的場面——トリアージ・臓器移植・患者の自律——でどちらの論理が働いているかを分析できるようになる。小論文・面接で「哲学的根拠を持った論述」ができるようになる。

 **新課程対応版（2026年改訂）** | 功利主義・義務論の基本概念は新課程「公共」「倫理」で扱われます。本講座ではこれらを医療倫理の具体的問題に論証として応用する実践技術を習得します。

 この授業の問い

1. 功利主義とは何か？「最大多数の最大幸福」を医療に当てはめるとどうなるか？
2. 義務論（カント）とは何か？「人を手段としてのみ扱うな」とはどういう意味か？
3. トリアージ・臓器移植・終末期医療の場面で、功利主義と義務論はどう衝突するか？

※ 授業後にもう一度この問いを見て、答えを書いてみよう。

## 2大倫理理論：一目で比較

項目	功利主義 (Utilitarianism)	義務論 (Deontology)
代表者	ベンサム・ミル (18~19世紀)	カント (18世紀)
核心	「最大多数の最大幸福」——結果が善ければよい	「行為の動機と義務」——結果より意図と規則
判断基準	行為の結果が生む幸福の総量	普遍的な義務・道徳律に従うか
医療での強み	トリアージ・資源配分・公衆衛生の正当化	患者の自律・インフォームドコンセントの根拠
医療での弱点	少数の患者が犠牲になることを正当化しうる	全体最適が犠牲になる場合の対処が難しい

🗨️ **面接での使い方：**「医療倫理4原則（善行・無危害・自律・公正）は功利主義と義務論の両方に根ざしています。善行・公正は功利主義的視点、自律は義務論的視点から来ています」と語れると、哲学と医療倫理を接続した深い視点を示せる。

## 採点者の視点

## 採点者はここを見ている —— 功利主義と義務論・医療倫理で合格答案はこういう「構造」をしている

## ① なぜ同じ答えでも評価が違うのか

清光学院の講師陣は、これまでに皆さんと同じ志を持った先輩受験生たちの答案を何千枚も採点し、合格・不合格の判定を下してきました。その経験から言えることが一つあります。

**「正しい答えを出していても、なぜそう考えたのかが見えない答案は、採点者の印象に残らない。」**

功利主義と義務論・医療倫理では、功利主義と義務論の使い分け根拠が答案の質を大きく左右します。

## ② 功利主義と義務論・医療倫理で採点者が見ているポイント

「功利主義では最大多数の最大幸福、義務論では行為自体の倫理性を問う」と枠組みを明示した答案が採点者評価を上げる

 この授業の使い方

各問題のワンポイントには「採点者がどこを評価するか」の視点が含まれています。答えを出すだけでなく、根拠を一文添える習慣を意識しながら取り組んでください。

## ③ 総合型選抜・口頭試問でも同じ構造が問われる

採点者（大学教員）が口頭試問で確認したいのは「答えが出るか」ではなく「思考の構造を説明できるか」です。この授業で習得する「上から俯瞰する」視点は、あらゆる試験形式に通用します。

## 続きは講義でご覧いただけます

この教材には、採点者の視点・核心的な解法・入試問題・演習・まとめがさらに収録されています。

大学教授陣が設計した「普通の授業では出会えない接続点」を体験できる完全版は講義でご提供いたします。

清光学院 AP SEIKO 理系講座 © 清光教育総合研究所